

## 「ヒバクシャ国際署名」スタート1周年記念集會に130名参加 核兵器禁止条約実現へ長崎からの願いを発信

昨年4月日本被団協から提起された「ヒバクシャ国際署名」、長崎でのスタート集會から1周年を迎え、5月27日(土)に長崎被災協會館で集いが開催されました。

昨年のオバマ大統領の広島訪問に合わせ開催された集會は「生きているうちに核兵器の廃絶を」と平和祈念像の前から被爆地長崎の思いを世界に発信しました。その後、長崎のとりのくみは9月に「ヒバクシャ国際署名」すずめる県民の会発足となり、12月には田上長崎市長が、今年4月には中村県知事が被爆者とともに街頭から署名を訴えるなど、自治体との大きな共同が進んでいます。県下22自治体中21自治体が賛同署名を寄せています。また、住民にHPや広報で呼びかけ、数千筆の署名を寄せてくれた自治体もあります。

昨年の国連総会で「核兵器禁止条約交渉會議」が採択され、3月に開催された「交渉會議」は歴史的な一歩をふみだし、その合意にもとづき「禁止条約案」が発表されています。6月15日から始まる第2会期の會議では「核兵器禁止条約」採択されるという、国際政治は早く動いています。被爆者をはじめ市民社会の参加を求めて、共同でその動きをつくっています。国も安全保障にかかわる核兵器廃絶のことで市民社会と国際政治が共同するという民主主義の流れが作り出されています。

この流れを後押しし核兵器なくせの世論を高める運動の柱である「ヒバクシャ国際署名」は大事です。とりわけ核兵器使用の危機、核兵器近代化計画が進まないように取り組みが急がれます。6月15日からはじまる国連での交渉會議へ、たくさんの署名を代表にたくし「核兵器禁止条約実現」を迫りましょう。



### ＜県原水協より国連派遣募金のお願い＞

郵便振替 01810-8-21283

【口座】原水爆禁止長崎県協議会 「国連派遣募金」と明記ください

※領収書は郵便振替の「控え」に代えさせていただきます。



## 国連の「核兵器禁止条約交渉會議」 ニューヨーク行動に連帯し署名行動を！

ニューヨークでは17日に「核兵器禁止女性平和行進」やハマースヨルド広場で集會、署名提出など18日(日)国際フォーラムやニューヨーク街頭署名など計画しています。県民の会のとりのくみではJR長与駅コミュニティホールで「原爆展」を17日(土)18日(日)の両日10:00～16:00開催します。署名にもとりのくみです。お近くの方はご参加ください。

長崎市内では18日(日)ハマクロス前で16:00～17:00署名行動をします。県下各地、団体で行動し「核兵器禁止条約実現」を迫りましょう。署名の計画などお知らせください。

## 核兵器禁止条約の実現を力に、次のステップへ！ 2017年世界大会パンフ、学普・普及しよう

今年の大会パンフは、「ヒバクシャ国際署名読本」というものです。

3月に開かれた核兵器禁止国連會議の画期的な成果を反映しています。

国連會議で感動を呼んだ日本被団協の藤森俊希さんやカナダ在住被爆者のセツコ・サーローさんの発言、核兵器禁止条約実現に向けたうごき、その流れに背を向ける日本政府の被爆国にあるまじき姿勢の根本要因、「ヒバクシャ国際署名」の意義などが学べる学習資料です。購入については県原水協まで。

### 核兵器全面禁止・非核平和の実現へ

### 『原水協通信』をお読み下さい

核兵器全面禁止・非核平和の世界を実現するために、核兵器廃絶、核戦争阻止、被爆者援護・連帯などの問題で草の根と世界を結ぶ原水爆禁止運動がしっかり学べる唯一の機関紙をぜひお読みください。

核兵器禁止条約実現という人類史的課題をねばり強く迫ってきた「原水協通信」、運動のネットワークに大事です。購読料は送料含み年間2640円。



核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会

Gensuikyō news 2017/06/06

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102